

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成20年11月16日

## 【評価実施概要】

事業所番号	0170202261		
法人名	社会福祉法人パートナー		
事業所名	グループホーム ハートの家式番館		
所在地	札幌市東区東雁来9条1丁目8番5号 (電話) 011-792-4008		
評価機関名	(有)ふるさとネットサービス		
所在地	札幌市中央区北1条西5丁目3 北1条ビル3階		
訪問調査日	平成20年11月12日	評価確定日	平成20年12月15日

【情報提供票より】 (20年10月27日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成15年 11月 12日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	15 人	常勤15人 非常勤0人 常勤換算	12.81人

### (2) 建物概要

建物構造	鉄筋 造り
	2階建ての 1～2 階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	36,000 円	その他の経費(月額)	水光熱費 20,000円	
			暖房費(11月～3月) 5,000円	
敷金	有(60,000円)・無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( )円	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	330 円	昼食	450 円
	夕食	413 円	おやつ	105 円
	または1日当たり 円			

### (4) 利用者の概要(10月27日現在)

利用者人数	18名	男性	7名	女性	11名
要介護1	2名	要介護2	8名		
要介護3	7名	要介護4	1名		
要介護5	0名	要支援2	0名		
年齢	平均 79歳	最低	70歳	最高	89歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人英仁会札幌病院、宮本歯科医院
---------	--------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

閑静な住宅街に位置している当ホームは、平成15年に開設以来、職員は利用者の過ごしてきた生活環境、現在の身体状態、精神状態を的確に捉えケアサービスに取り組み、家族の方々からも深い信頼が寄せられています。職員は、利用者がこの地域で過ごし、この地域で生き甲斐を感じ、この地域で穏やかで安心できる暮らしを支援していこうとの熱い理念のもと、日々のケアサービスで実践しています。まさしく、ハートのあるグループホームです。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目 ①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の改善項目である「地域の生活を支える理念の明確化」「職員の計画的な研修体制の確立」「重度化や終末期の対応指針」については、職員全員の取組みにより改善が見られました。
重点項目 ②	今回の自己評価に対する取組み状況(関連項目:外部4)
	職員は評価の意義を理解し、今回の自己評価も職員全員で取り組み、新たな気づきや改善点などを把握し、運営に反映しています。
重点項目 ③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議が開催されていない時期もありましたが、現在は、2ヵ月毎に順調に開催されています。ホームの現状報告に加え、東区の避難場所の確認、ホームと町内会の協働、自己・外部評価の取組み事項など、サービスの質の向上に向けて真摯な意見交換がなされています。
重点項目 ④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	利用者のホームでの生活状況については、毎月の「ホーム便り」で報告し、一人ひとりの心身の状態は、家族の方々の来訪時や電話、手紙などで詳細に伝えています。その中での意見や要望は、改善に向けて検討しています。
重点項目 ④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	町内会の行事への参加、隣近所への挨拶、独居の方々への訪問、また、買物、理・美容室の利用は地元の商店を利用するなど、積極的に交流を深めています。さらに、深い繋がりを図りたい意向ですので、実行に期待します。

## 2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	利用者が地域で暮らす意義を十分に理解した運営理念を掲げ、日々実践に向けて取り組んでいます。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は、常に理念に沿ったケアサービスに努め、理念を当たり前のこととして捉えています。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会の行事への参加、隣近所への挨拶、独居の方々への訪問、また、買物、理・美容室の利用は地元の商店を利用するなど、積極的に交流を深めています。	○	職員の積極的な取り組みにより、地域の繋がりは深まってきていますが、今後、幼稚園や小学校との交流も図りたいとの意向もありますので、取り組みに期待します。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員は自己・外部評価の意義を理解し、今回の自己評価も職員全員で取り組み、新たな気づきや、外部評価での改善点などを検討し、運営に反映しています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議が開催されていない時期もありましたが、現在は2ヵ月に1回順調に開催しています。ホームの現状報告、東区の避難場所やホームと町内会の協働について、自己・外部評価の取り組み事項など、サービスの質の向上に向けて、真摯な意見交換がなされています。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	管理者会議や毎月の報告などで、行政の担当者から助言を受けたり、また、担当部署からホーム側に新人研修の受け入れ依頼があったりと、密接に連携を取り、サービスに活かしています。		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	利用者のホームでの生活状況については、毎月の「ホーム便り」で報告、それに加え、家族の方々の来訪時や電話、手紙などで利用者の日常を詳細に伝え、家族の方々から深い信頼を得ています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営に関する要望や意見は、苦情箱の設置や第三者の相談窓口の周知、また、面会時や電話、手紙などで伝えていただき、改善に向け検討しています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	運営法人内での異動は、行事などが合同で行なわれているので、各ホームの職員と利用者は馴染みの関係が出来ており、影響があるまでには至っていません。異動時には、家族に郵送で通知されています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	運営法人内での研修に加え、外部研修は、職員の段階に応じ積極的な参加を促し、研修費も年間予算を組み、職員のスキルアップを図っています。研修後は、毎月のミーティングで発表し、職員全員が共有しています。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	東区の管理者会議の中で、研修や地域のほかの業者との交流が取り組まれ、職員の向上心に繋がっています。		
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居に際し、管理者の家庭訪問や、利用者・家族のホーム見学により、生活歴や性格などを細やかに情報収集し、職員全員で利用者の安心に繋がるよう工夫しています。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員の見守りの中、利用者は主体性の持てる環境のもと、職員に感謝の言葉を掛けてくださり、積み重ねてきた知識を伝授したりと、家族のような信頼関係が築かれています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの思いや意向は、これまでの生活歴や、家族の方々からの情報収集で把握し、買物、散歩、行事参加も利用者の希望に沿って支援しています。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	運営法人独自の情報シートや、関係者からの意見を参考に、毎月の検討会議で一人ひとりに沿った介護計画を作成しています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	状態変化の有無に拘わらず、毎月新たな視点で、一人ひとりのケアプランの見直しが行なわれています。状態変化が起きたときは、緊急会議で適切な見直しが行なわれています。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ホームでは、利用者の通院介助、地域のイベント参加、花見、一泊温泉旅行、配偶者の入院見舞い同行、希望の理・美容室への同行など、出来る限りの支援をしています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援  本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者や家族の希望する病院受診はもとより、定期受診、緊急時受診など、24時間対応の協力病院の連携により、利用者、家族の方々の安心を得ています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	利用開始時に担当医師立ち会いのもと、重度化や終末期についての指針を、利用者、家族に説明のうえ同意書を取り交わしています。利用者の意思、家族の方々の意向を汲み、終末期を穏やかに迎えらるよう支援がなされています。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	人生の先輩としての尊厳を大切に、一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねることのないよう支援しています。個人情報も、適切な管理がなされています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ホームの一日のスケジュールは決まっていますが、利用者の希望に沿い、買物、散歩や歌を歌ったり習字をしたりと、優しい時間が流れています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者は、一人ひとりの持てる力を活かし、料理の下ごしらえ、配膳、食器洗いなど職員と一緒にこなしています。職員は、献立や盛り付けに工夫し、利用者と一緒に食事を囲んでいます。利用者から「美味しい」との言葉掛けに感謝し、楽しい食事の時間を過ごせるよう支援しています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日は基本的に、月・火・金・土曜日の中で、利用者の身体状態により希望に沿って支援しています。入浴剤を入れたり、介助も同性が行なうなど配慮しながら、利用者との大事なコミュニケーションの場となっています。		
<b>(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の得意分野を活かし、縫物や習字、ゴミ捨て、社交ダンス、畑作の手入れ、または収穫祭で舌鼓みを打ったりと、一人ひとりが役割を持ち、毎日が生き生きとして暮らしていけるよう支援しています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者一人ひとりの心身の状態や天候に合わせて、散歩や買物、ドライブなど、要望に沿った外出支援をしています。		
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	防犯上、正面玄関のみ夜間21時から午前6時まで施錠していますが、日中は、職員の見守りの中で、利用者は自由に出入りしています。センサーにより事務所内で利用者の出入りが確認できています。		

札幌市東区 グループホーム ハートの家 式番館

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の指導のもと、利用者主体の日中・夜間想定避難訓練を年2回実施しています。運営推進会議の中で、近隣の住民の方から避難場所の申し出があったりと、地域の方々の協力が得られています。		
<b>(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士の指導のもと、水分量は1,000ml以上、カロリーは1,600を基本に栄養バランスを取り入れた献立を作成し、摂取量は記録に残し、職員全員で共有しています。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
<b>(1) 居心地のよい環境づくり</b>					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間やコーナーのソファやテーブルで、居心地の良い場所を確保し、季節ごとの飾り付けや、外出行事の満面笑みの写真を眺めながら、思い思いの時間を過ごしています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者にとって大切な家具や調度品、また、安心感が得られる馴染みの備品などが配置されています。		

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。